

2026年度 高3学年指導目標

1. 他者を尊重し、思いやりを持って進んで行動できる人に

- ・ 最高学年としての自覚をもち、周囲の手本となってリーダーシップがとれる
- ・ 社会人としてのマナーと規範意識を身につけて行動できる
- ・ 他者を認め、思いやる気持ちをもって周囲に関わることでコミュニケーション能力を培う

生徒達がこれまでに培った「他者を大切に作る心」を、具体的な「行動」へと繋げることができるように関わります。行事やSDGs活動、ボランティア活動等で、自らが一歩前に出て、下級生の模範となり行動できるようにサポートします。社会人として大切な挨拶や時間厳守、提出物の期限遵守といった「当たり前のこと」を徹底させ、周囲に安心感を与える人間力を磨いていくよう促します。不安定な状況にある生徒に対しては、自らを客観的に見つめ、周囲との協働の中で自分の役割を見出す時間をとることで、自己をコントロールする力を高めていけるよう手助けしていきます。

2. 進路実現を叶えるため、計画的に受験準備を行わせる

- ・ 得意分野を活かして、学力向上に繋げるとともに、プレゼンテーション能力の向上を促す
- ・ 情報収集や進路に向けた準備を主体的に行えるよう指導する
- ・ 提出物の期限を守り、丁寧に仕上げることで、責任ある行動につなげる

これまでに身につけた基礎学力と選択授業やコースで磨いた個性・適性を土台として、得意分野を「自分の強み」としてさらに伸ばし、社会に対して自信を持って発信できる力を育成するよう努めます。進路ガイダンスやオープンキャンパスなどに積極的に参加させ、必要な情報を自ら収集するよう促し、生徒一人ひとりの納得のいく「進路実現」を支援するため、継続的に指導していきます。また、受験準備を単なる手続きではなく、自らの人生に責任を持つ訓練と捉え、提出期限の厳守を徹底させていきたいと考えています。困難に直面した際の切り替えも考慮し、早期から複数の進路プランについても検討させることで、計画的に余裕をもって準備が進めていけるよう促します。

3. 教員としての生徒とのかかわりについて

- ・ 生徒に寄り添い、共に活動することで生徒一人ひとりのよさや可能性を伸ばす
- ・ 家庭と連携し、迅速に対応する
- ・ 学年全体で協力して物事に当たる

生徒の将来を第一に考え、一人ひとりに真摯に寄り添い、生徒のよさを伸ばすための支援を行います。「寄り添う」と「社会へ送り出す責任」のバランスを大切に指導にあたることで、生徒の自律を促していきます。保護者や教育相談との連携を密にし、生徒の微細な変化を学年全体で共有し、迅速かつ的確に生徒をサポートするように努めます。また、教員自身が目標に向かって真摯に取り組む姿を見せることで、不安を感じる生徒の背中を押し、共に成長していきたいと考えています。